新聞 高 第 255 号 令和 5 年 3 月 2 日発行 ざいます。これからそ するということは、す 理解しておいてもらい 今後も大切にしてもら 生きていく上でのすべ することだけでなく、 べてのことを自分の力 それは、主体的に行動 たいことがあります。 て、そのことにおいて いたいことです。そし てに通じることであり、決しないことの方が多 した。これは学びに関 とをテーマとしてきま は主体的に行動するこ ジしてください。しか いってくれることを願 し、新たな社会を担う れぞれの場で力を発揮 人として着実に歩んで ご卒業おめでとうご ことではなく、必要に これまで、三高生に はできないことやや解 とも含まれているとい 覚すると、多くの方の いものです。それを自 し、すべてのことが自 さい。それにチャレン うことです。 を客観的に見つめ、謙 を受けていることがわ が成り立ち、その恩恵 力のおかげで今の日常 は限らず、自分一人で 分の力だけでできると を借り、頼りにするこ 応じて周りの人の助け 時折考えることで自己 かります。そのことを やりきろうとしてくだ まずは、自分の力で そのバランス感覚は大 近づけるかの判断がで けつつ、 何もできないと思う必 をお願いすることにお す。かといって自分は 事にしたいものです。 できている、これから てはじめて、どの人の で自分は多くのことが ます。誰かの恩恵を受 要もありません。でき 人に頼ってばかりいて、人の力を借りる、協力 が及ばないことは、だ ると思うことは大切で、ことで、自分の目的に もいろんなことができ どういった力を借りる ることはたくさんあり 努力しても自分の力 つながりの中 校 長 いても、主体的に考え、どんどんいろんな人の ます。 ことです。 動がみえてくるという き、的確に人に頼る行 体者となって考えてい してほしいのです。主 なっていることを理解 行動することが前提と しかしこの、 泉 谷 俊 郎 もらうことなども含め、感謝の気持ちは将来の 迷惑をかけることは違 ると元気がもらえると を感じるものです。一 助けは決して迷惑では り組んでいる人への手 目的をもって何かに取 お世話になってくださ 所懸命な人と接してい なく、むしろやりがい る人であってください。ない可能性があります。と話すことでぱっと広 い。お世話しがいのあ います。 一緒に考えて ときは貸しましょう。 いってくれる人は多い くなりすぎたり小さく その可能性をより大き 恩送りのためにも積ん がら自分の力を貸せる でおいてください。 時として実態より大き とを心から願っていま とになるからです。 自分の本質に近づくこ そうすることが目指す てほしいと思います。 をして、そして大いに も、大いに自分で努力 きるかは、考え方と行 こまで広げることがで 周りの人の力にも頼っ 動次第です。これから く広げてください。ど 皆さんには計り知れ 自分から見た自分は、 す。 す。これからの皆さん るものです。身近な人 がって見えてきたりす した日々を過ごせるこ が将来にわたって充実 た生き方ができる人で えていってほしいと思 す。周囲の人の力を得 見てくれているもので は思っているよりよく えなかった世界が誰か ところに置きましょう 状況を把握して適切な 周囲の人からの客観的 います。それができる ながら自分で自分を整 な視点を借りて自分の 人は人生の目的に沿っ 一人で抱えていると見

だけでやりきるという

虚な気持ちにもなれま

れかに頼ることになり

お世話になることと

のです。当然のことな

なりすぎたりします。